

佐賀市 川原さん

<経営面積>

露地ミカン+中晩柑 33a
根域制限栽培 10a

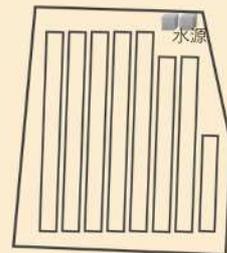
<労働力>

家族 2人

根域制限栽培概要

宮川 10a (H19)

水源 井戸
貯水タンク2基
灌水資材 ネオドリップ



—川原さんが根域制限栽培を始められたきっかけは何でしたか？

川原さん 当時のJAの技術員さんにね、「川原さん、根域制限栽培を見に行きましょう！」と誘われてね、いち早く鹿島で導入されていた方の園地を見に行った訳ですよ。そしたら、その帰りにはもう根域制限栽培をやってみよう、と決めてましたね。

—根域制限栽培の魅力は何でしたか？

川原さん 傾斜のない『平坦地』で楽に品質の高いみかんが作れるところですよね。私の畑はもともと水田だったんだけど、排水が悪くて、米は良くできるけど麦ができなかったから。みかんにした方がよっぽど収益が上がりますしね。

—圃場の工事はスムーズにいきましたか？

川原さん たまたま知り合いから山土を購入できたと、神埼で先行して導入されていた方が重機で土壤改良剤を混ぜたり、培土を運搬して手伝ってくださったおかげで、工事がうまくいきました。工事の次の年に植え付けをした時も、JAの技術員さんとか佐城の普及員さんが手伝ってくださったし、その後の指導もありがたかったです。

—みかんが生りだしてからはどうでしたか？

川原さん 4年目から本格的に生らし始めたんですが、品質はもうバッチリでした。最初は『根域制限栽培』を知らない人がほとんどで、「山で作ってたみかんを田んぼに下ろしてきただけでしょ」と思われて悔しかったですね。でも食べたらその美味しさにみんなビックリするんですよ。JAの出荷先からもとても評判が良くて。嬉しかったですね。

—川原さんの根域制限栽培のみかんは甘くて美味しいと有名ですもんね。今までに失敗はありましたか？

川原さん みんなから評判がいいもんだから、ついつい生らせ過ぎてしまって、一部の樹を弱らせてしまったことですね。今は樹勢維持に力を入れて、摘果と水やりをしっかりとるようにしています。

—冬季には土壤改良もされていますよね？

川原さん 植え付けから15年近く経ったので、思い切って1年に3列ずつ休ませてます。JAの城下技術員さんと一緒にオーガーで穴を掘って土壤改良剤を混ぜて、強剪定で枝を出しなおす作業をしています。

—葉色も良くなって、葉数も増えましたね。

川原さん はい。これからも根域制限栽培で美味しいみかんを作り続けたいですから。

—今年も川原さんの甘いみかんを楽しみにしています！



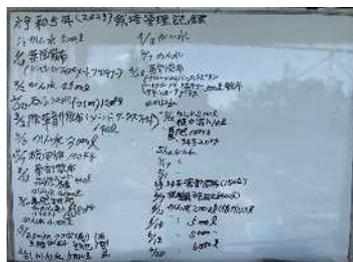
近年は、新たな根を増やす目的で、土壤改良のために購入したオーガーで穴を掘り(左)、掘削した穴には土壤改良剤を混和して(上)埋め戻す作業が行われています



売れる階級・品質づくりに欠かせない摘果は、思いきりの良い奥さまが担当



井戸水の流量では園内の同時かん水量が賅えないため、貯水タンク2基を設置して水量を確保



園内に設置したホワイトボードには、防除履歴やかん水量、細かな観察記録がびっしり



県道沿いの園地は目に留まりやすく、みんなに注目されていることも、良い刺激になるそう